

文書館だより

Fukui Prefectural Archives



▲「越前世譜 茂昭様御代」 1858年(安政5)～1869年(明治2) 松平文庫(福井県立図書館保管) A0143-01973～01992

第25号 目次

特集1「学校向けアーカイブズガイドの公開」	2
特集2「本番までの道のり—50年前の福井国体—」	4
歴史的公文書紹介	
『福井国体(昭和41年)』	
～幾久グラウンドから福井運動公園へ～	6
寄贈資料紹介	7
お知らせ	8

第25号

2017.11

福井県文書館

特集 1

学校向けアーカイブズガイドの公開

文書館では高等学校の日本史B教科書（山川出版社、『詳説 日本史B』）に準拠する形で、教材として活用できるふくいの地域資料の情報や画像をWebで紹介しています。学校での授業案・教材作成の参考として、ぜひご活用ください。

福井県文書館トップページ → 学校で使える資料 → 学校向けアーカイブズガイドの公開

教科書対応一覧表

章	節	項目	資料解説シート	画像関連
1 開国と幕末の動乱		開国		
		開港とその影響		
		公武合体と尊攘運動		
		倒幕運動の展開		
		幕府の滅亡		
2 明治維新と富国強兵		幕末の科学技術と文化		
		戊辰戦争と新政府の発足	IV-9-2-1 五榜の掲示(382KB)	※デジタルアーカイブへ ※画像等のDL
		廃藩置県	IV-9-2-2 徴兵運名簿(427KB)	※デジタルアーカイブへ ※画像等のDL
		四民平等		
		地租改正	IV-9-2-4 地券と地籍図(421KB)	※デジタルアーカイブ(地券) ※デジタルアーカイブ(地籍図) ※画像等のDL
		殖産興業	IV-9-2-5 郵便物差出人心遣(400KB)	※デジタルアーカイブへ ※画像等のDL
			IV-9-2-5 北海道地図(明治28年)(400KB)	※デジタルアーカイブへ ※画像等のDL

資料解説シート

所蔵資料を中心として、ふくいに関する地域資料の中で授業に活用しやすいものをピックアップし、解説を加えています。

ごぼう
五榜の掲示 … 新政府の最初の民衆政策



1868年(明治元)「定(五榜の掲示、第三札)」
福井県立歴史資料館(当館蔵) デジタルアーカイブ

右之通被
仰出候間
可相守也
教賀県

一 一切支丹所門之罷者
一 是迄御禁之通固く
可相守事
一 邪宗門之儀者固く
禁止候事

慶応四年三月 大政官

解説

五榜の掲示は、新政府が最初に示した民衆政策です。1868年(明治元)3月15日に**五箇条の誓文**が公布され、翌日政府は旧幕府の高札の撤去を命じ、代わって五札の太政官札の掲示を命じました。五札それぞれの内容は以下のとおりです。

第一札:五箇条の遵守 第二札:徒党・強訴・迷惑の禁止
第三札:切支丹・邪宗門の厳禁 第四札:万国公法の履行
第五札:郷村脱走の禁止

第一札から第三札は永年の掲示とし、第四札は外国人に危害を加えることの禁止、第五札は士民の本国脱走の禁止などを記し、この両札は覚書で竊機の事項もしくは布令を公示するものとされました。

全体としては従来の旧幕府の民衆政策とほとんど変わらない内容でした。その後、諸外国からの抗議により71年(明治4)10月4日には、第五札が除却され、さらに、73年(明治6)2月24日には高札制度が廃止されると同時に、第一札から第四札も除却されました。

資料の注目ポイント!!

資料は、1868年(明治元)に池田町西角間村(現、今立郡池田町西角間)で使用されていた高札です。高札とは、法令・禁令などを人々に周知徹底させるために板札に墨書し、町辻、橋頭、街道の分岐点、舟渡場、関所など人目につきやすい場所に掲示したもので、制札ともいいます。

内容は、五榜の掲示の第三札を示しています。日付は慶応4年(明治元)の3月となっていますが、その当時教賀県はまだ成立していません(教賀県発足は1871年(明治4))。教賀県の部分をよく確認すると削られた跡があり、発令元をかえて何度も使用されていたことがわかります。

福井県文書館 学校向けアーカイブズガイド

資料画像や関連情報(グラフ、活字の資料など)のダウンロードも可能です。

資料解説シートおよび資料画像のいずれも利用する場合に当館への申請は必要ありません。編集、改変も自由です。(掲掲、利用についてのお願いを参照)

● 現在公開中の資料解説シート（平成 29 年 9 月現在、随時更新中）

山川出版社『詳説 日本史 B』 第Ⅳ部 近代・現代		資料解説シート	
章 節	項目		
9	2	戊辰戦争と新政府の発足	Ⅳ -9-2-1 五榜の掲示
		廃藩置県	Ⅳ -9-2-2 徴兵連名簿
		地租改正	Ⅳ -9-2-4 地券と地籍図
		殖産興業	Ⅳ -9-2-5 郵便物差出人心得
			Ⅳ -9-2-5 北海道地図（明治 28 年）
		文明開化	Ⅳ -9-2-6 太陽暦頒行ニ付足羽県布達
	Ⅳ -9-2-6 学制公布された時期の教科書（神話、野球など）		
	新政府への反抗	Ⅳ -9-2-8 西郷拳兵の風聞を伝える杉田定一書簡	
	3	松方財政	Ⅳ -9-3-2 小作米為取替証書写
		憲法の制定	Ⅳ -9-3-4 大日本帝国憲法（官報号外）
		朝鮮問題	Ⅳ -9-3-8 朝鮮・中国の地図（明治 27 年）
		日清戦争と三国干渉	Ⅳ -9-3-9 三国交渉朝鮮絵報
	Ⅳ -9-3-9 台湾嶋地図（明治 41 年）		
	4	日露戦争	Ⅳ -9-4-3 日露戦争早見地図、日露作戦地一覽図
5	桂園時代	Ⅳ -9-5-4 高椋村村是	
6	教育の普及	Ⅳ -9-6-3 教科書（明治 34 年） 東郷小学校新築落成式	
10	1	第一次世界大戦	Ⅳ -10-1-2 欧羅巴戦局地図（大阪朝日新聞附録）
	2	社会運動の勃興と普選運動	Ⅳ -10-2-3 関東大震災（写真）
	3	都市化の進展と市民生活	Ⅳ -10-3-1 永平寺大遠忌参拝団各位御優待（昭和の観光ガイド）
			Ⅳ -10-3-1 だるま屋少女歌劇部
	4	金解禁と世界恐慌	Ⅳ -10-4-3 農村叙景滑稽いろは歌
	6	日中戦争	Ⅳ -10-6-2 山砲兵分隊長滝本孝之陣中日記
		戦時統制と生活	Ⅳ -10-6-3 衣料切符、物資購入手帳
国民生活の崩壊		Ⅳ -10-6-9 戦時中の貯金通帳、公債	
11	1	民主化政策	Ⅳ -11-1-3 Diary note（戦後の中学生日記）
		生活の混乱と大衆運動の高揚	Ⅳ -11-1-6 封鎖貯金払出証明書
12	2	高度成長のひずみ	Ⅳ -12-2-4 福井県報「福井県公害防止条例」

★ 利用についてお願い ★

- ①資料解説シートはオープンデータとして CC（クリエイティブコモンズ）ライセンスにおける **CC BY4.0** 準拠で取扱っています。利用の条件は著作権者（福井県文書館）のクレジット表記のみです。また資料画像については著作権の保護期間が満了したものを中心に提供しています。資料等の著作権に関して疑義をお持ちの場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。
- ②学校からの要望にあわせてアーカイブズガイドの拡充に努めていきたいと考えています。今後の教材選定作業の参考のために、アーカイブズガイドを利用して作成された成果物（授業案、教材プリントなど）を当館まで提供いただければありがたいです。また、授業において「こんな資料はないか…？」などの要望も随時受け付けています。

問い合わせ先 福井県文書館：学校支援担当 ☎ 0776-33-8890（E-mail）bunshokan@pref.fukui.lg.jp

第73回国民体育大会「福井しあわせ元気国体」、第18回全国障害者スポーツ大会「福井しあわせ元気大会」を来年に控え、現在、準備が進められています。ここでは、前回の福井国体（昭和43年）の準備のようすを県広報写真などで紹介します。



清新で堅実な式典

明るく、きよく、たくましくをスローガンとする福井国体開閉会式の演出に当たっては、開会式前のレクリエーション、集団演技、式典音楽、式典進行に伴う諸効果について、清新さ、堅実さを基調とし、国体地方開催の趣旨が十分に織り込まれるように準備が進められました。



▲炬火リレーの試走 (1967年) 87705



▲集団演技発表大会 (1967年) 60281



▲集団演技発表大会 (1967年) 60281



▲式典のアナウンス講習 (1968年) 63641



▲国体料理講習会 (1967年) 63253

民泊

福井県を訪れる選手、役員は約3万人。このうち旅館に宿泊できるのは1万9千人でした。その他の約1万1千人を受け入れる民泊家庭は、標準献立やサービスの講習を受けました。また、遠来の選手をあたたかく迎えようと、浴衣づくりや玄関の歓迎装飾などにも力を入れました。



▲坂井町民泊講習会 (1967年) 62988



▲民泊準備 (1968年) 63641



▲民泊準備 (1968年) 63641

県民運動の推進

福井国体を控え、県内では各種の県民運動が進められていました。県民運動には、体育レクリエーション運動、健康増進運動、花いっぱい運動、町や村をきれいにする運動、親切運動、楽しく買い物ができる運動、事故をなくす運動、郷土を知る運動、郷土を知らせる運動の9つがあり、それぞれの部門ごとに活動を行いました。



▲花いっぱい移動市(武生市) (1967年) 63001



▲福井国体の歌フォークダンス巡回講習会 (1967年) 63302



▲県庁内外の清掃 (1967年) 63113



▲国体広告塔

(1966年) 61643



▲広報用ポスター審査 (1967年) 63200

広報

印刷物、テレビ・ラジオ、広告物、国体写真コンテスト、記録映画などで、福井国体を幅広く宣伝しました。

■表紙写真■ 「越前世譜 茂昭様御代」1858年(安政5)～1869年(明治2)

松平文庫(福井県図書館保管) A0143-01973～01992



「越前世譜」とは、福井藩主の事績を中心とした編年体の福井藩史で、福井藩にとって最も公式で根本的な歴史書の1つです。「家譜」の草稿にあたり、「家譜」に採録されなかった記事も含まれています。内容は越前松平家の冠婚葬祭や幕府・将軍家との諸儀礼および幕府法令等がかなりの部分を占めていますが、藩内の法令や財政・自然災害など、藩政全般にわたる記述も少なからずみられ、福井藩の状況をうかがい知る基礎的な資料といえます。「越前世譜 茂昭様御代」には、最後の藩主である松平茂昭が藩主であった1858年(安政5)～1869年(明治2)のできごとが残されています。全部で20巻あり、幕末の福井藩を取り巻く状況をうかがうことができます。

◆◆◆ 歴史的公文書紹介 ◆◆◆

「福井国体(昭和41年)」

～幾久グラウンドから福井運動公園へ～

来年、第73回国民体育大会「福井しあわせ元気国体」と第18回全国障害者スポーツ大会「福井しあわせ元気大会」が福井県で開催されます。そのメイン会場となる陸上競技場などの福井運動公園施設はほぼ改修も終え、国体本番を迎えようとしています。

前回国体で福井運動公園が整備される前、公式に認可された陸上競技場が福井市内の別の場所に存在していました。そのことを文書館で保管されている歴史的公文書の中から知ることができます。

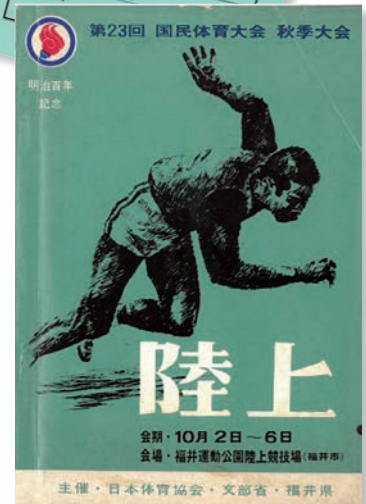
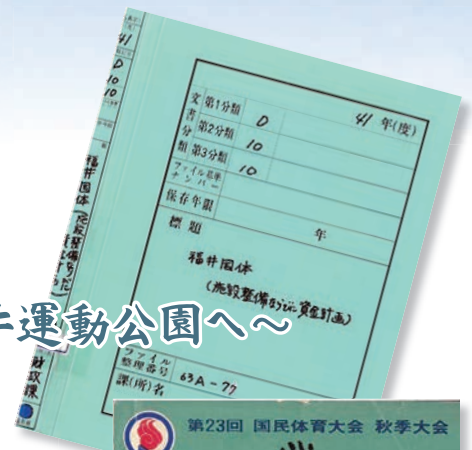
ここで紹介する資料は、「福井国体(施設整備ならびに資金計画)」です。そこには、福井運動公園内の野球場を始めとする各施設についての建設事業費を示す資料や、その資金充当計画などが綴られています。その充当財源予定の一つとして「旧総合グラウンド敷地売却」が挙げられています。また、他の関連資料として「幾久総合グラウンド」

とも記された資料には、1942年(昭和17)完成、戦震災後の1949年



▲幾久グラウンド(総務部広報課)

(1966年) 62777



- ▲「福井国体」(総務部財政課)
(1966年度) 544
- 「陸上」(国体資料)
(1968年度) 整理中

10月第2種陸上競技場と記され、他に平面図も綴られています。当時の陸上競技場は今の福井県立歴史博物館を含め更に南側に延びており、他にバレーボールコート、相撲場、テニスコートなどが整備されていたようです。

戦前戦後、各種競技会やさまざまなスポーツを楽しんできた施設の中心が、幾久総合グラウンドであったことがわかります。そして、現在の幾久公園よりも広大な土地で、その役割を担ってきました。現在の幾久公園からは想像できない意外なことがこの公文書からうかがえます。

◆◆◆ 寄贈資料紹介 ◆◆◆

複製本ができたものから公開しています。

● 増田公輔家文書 (J0116)

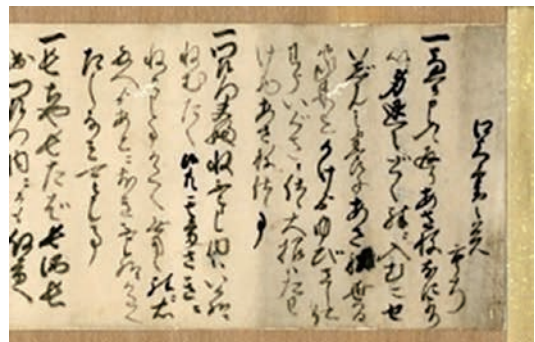
野向村役場・大野地方事務所等に勤務していた増田政氏が、業務上作成・収集し、手元に残った文書類で、野向村の歳出歳入予算書・決算書、事務報告とともに、地方事務所で満洲移民送出業務を担当した際の「参考資料綴」、満蒙開拓青少年義勇軍関係資料などがあります。



「昭和十七年九月末 参考資料綴」▶
J0116-00051

● 岩堀健彦家文書 (D0001)

丹生郡朝宮村の岩堀家は、代々門左衛門を名乗って庄屋・組頭を務め、酒造業も営んでいました。おもに天保期に五人組頭をめぐる争った村方騒動を含む村方文書、岩堀家の家文書から構成されます。なかでも1694年(元禄7)に笹谷村の市郎右衛門が、当家に婿入りする息子へ与えた書置では、義父母への孝養が説かれるとともに、細やかな生活上の教訓が認められています。



▲「口上書之覚(笹谷村市郎右衛門書置)」D0001-00024



● 辻岡通文書 (A0199)

福井震災でも崩壊することがなかった旧福井市庁舎や旧福井信託銀行社屋を設計した福井市出身の建築家辻岡通氏(1886-1955)の設計図です。1935年(昭和10)5月に竣工した福井市庁舎・公会堂の青焼図面3点です。

◀「福井市庁舎及公会堂設計図東面図(縮尺100分の1)」A0199-00001

新たに公開した古文書紹介

前号紹介後に新たに公開した資料群は以下の通りです。(寄贈・寄託資料は除く)

- A0191 福井市立清水図書館
- C0076 旧大石村役場 坂井市
- E0122 榎尾吉右衛門家 越前市
- H0055 西野次郎兵衛家 南越前町
- J0094 山内勘兵衛家 勝山市
- K0015 小森清兵衛家 福井市
- M0006 石井左近収集(敦賀郷土博物館)
- Q0025 白崎市兵衛家 高浜町

資料所在確認調査を始めました

文書館では現在、福井県史を編さんする際に調査させていただいた資料所蔵者の方を対象に、資料所在確認調査を行っています。今年度は敦賀市・美浜町・若狭町の3市町で実施しています。来年度は越前市・鯖江市・越前町・南越前町・池田町の5市町で実施する予定です。

対象となる資料所蔵者の方には、郵送でアンケートを送付しますので、アンケートへの回答をお願いします。ご不明な点などがございましたら、文書館へお問い合わせください。

文書館講座・展示・刊行物のご案内

■フィアラ先生の古典文学ゼミナール 『更級日記』を読む

- 第3回 12月16日(土) 13:30～15:00
 - 第4回 1月20日(土) 13:30～15:00
 - 第5回 2月17日(土) 13:30～15:00
 - 第6回 3月17日(土) 13:30～15:00
- 講師：カレル・フィアラ（文書館古典文学顧問）
会場：文書館研修室 定員：40名（要事前申込）
- *『更級日記 現代語訳付き』原岡文子訳注（角川ソフィア文庫）を用意して、受講してください。

■アーカイブズ 専門講座「ふくいの歴史資料を読み解く」

- 第1回 日時：平成29年12月10日(日)
13:30～15:00
「越前国の西大寺領赤江庄
—平城京出土木簡を読み解く—」
講師：館野 和己 氏（奈良女子大学特任教授）
- 第2回 日時：平成30年2月10日(土)
13:30～15:00
「若狭から見た戦国期越前」（仮）
講師：松浦 義則 氏（福井大学名誉教授）

第1回、第2回いずれも

会場：福井県立図書館多目的ホール
定員：70名（要事前申込）

国立公文書館所蔵資料展 「明治日本とふくいの軌跡」

明治前期の日本の近代化のようすとその中で活躍した福井ゆかりの人のことについて、国立公文書館の所蔵資料を中心に紹介します。
期間：平成30年1月20日(土)～3月18日(日)
場所：福井県ふるさと文学館

文書館関連展示 「明治ふくいのすがた—新聞と写真から—」

期間：平成30年1月26日(金)～3月21日(水)
場所：福井県文書館

叢書発刊予定のお知らせ

今年度の『福井藩士履歴』6福井県文書館資料叢書14は、平成30年3月末ごろ発刊予定です。既刊に続く「み～わ」の準備を進めています。既刊資料叢書と同様に希望者には文書館閲覧室あるいは送料実費負担にて配布します。

ご利用案内

- 開館時間
午前9時から午後5時まで
- 休館日
月曜日（国民の祝日を除く）
国民の祝日の翌日（土、日、祝日は除く）
文書等点検期間（年間10日以内）
年末年始（12月29日～1月3日）
清掃整理日（4月・7月・12月以外の第4木曜日、祝日の場合は翌日）
- フレンドリーバス（無料）をご利用ください。



編集後記

文書館だより第25号をお届けします。今号では学校向けアーカイブズガイドの公開と50年前の福井国体の準備のようすを特集しました。今後とも文書館に親しみをもって利用していただくために、さまざまな取り組みを行っていきます。



文書館だより Fukui Prefectural Archives 第25号

2017年(平成29)11月17日発行
編集・発行／福井県文書館
〒918-8113 福井市下馬町51-11 電話 0776-33-8890 FAX 0776-33-8891
ホームページアドレス <http://www.library-archives.pref.fukui.jp>
電子メールアドレス bunshokan@pref.fukui.lg.jp



健康長寿の福井